

熊本県立芦北高等学校 令和元年度「学校安全総合支援事業」に係る防災教育公開授業学習指導案

- 1 題材名 風水害に備える
- 2 日時 令和元年11月8日(金) 5限(13時30分～14時20分)、6限(14時30分～15時00分)
- 3 生徒 1学年(3クラス)
- 4 場所 武道場、各ホームルーム
- 5 授業者 1学年職員(学年主任1人、担任3人、副担任3人)
- 6 カリキュラム・マネジメントの視点

学校行事「避難訓練」leftrightarrowホームルーム活動「風水害に備える」leftrightarrow地理歴史「地理総合」

7 ねらい 風水害が予想される場合の具体的な行動、避難の仕方について考える。

8 展開

時間	学習内容 ★発問等	○教師の支援 ◎指導のポイント ◆評価
13:30	1 心のケアを受ける。	○これから自然災害について学習します。災害について理解し正しく対処する方法を学ぶことは安全につながります。
13:35	2 風水害について知る。	○DVD映像(台風、豪雨、局地的大雨)を見る。 ◎熊本県(芦北町)でも様々な風水害が起きていることを補足説明する。 県内【不知火高潮災害(H11)、九州北部豪雨:熊本広域大水害(H24)】 芦北町内【集中豪雨(H18)、台風(H24)】 ○高潮災害発生のメカニズムについても触れる。
	3 熊本県の雨の特徴を知る。 ★雨温図を見て、熊本県の雨の特徴を考えよう。	○熊本県の雨の特徴について考えさせる。 ◎熊本県は6月中旬から7月中旬までの梅雨時期に雨がまとまって降り、7月の初め頃大雨になりやすい傾向がある。 ◎気候変動につながらない生活について触れる。 (省エネ家電、エコバッグ、キャンドルナイトなど) ○風水害は、発生前に情報を得ることができる災害で、市町村が発令する避難情報があることを理解させる。
14:00	各ホームルームへ移動	
14:05	各ホームルーム	
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 風水害が予想される場合の具体的な行動、避難の仕方を考えよう </div>	
	4 避難情報が発令されたときの避難行動について考える。 ★市町村や気象庁から発表される防災情報にはどんな情報がありますか。 ★避難情報発令された場合の具体的な行動について考えよう。 ★避難しない、遅れるなど、災害時の心理について考えよう。 (個人)(小集団)(全体)で考える	《防災気象情報をもとにとるべき行動、相当する警戒レベル》 ◎H31年3月に改訂された5段階の警戒レベルについて説明する。 ○資料から具体的な行動について考えさせる ◆風水害が予想される場合の具体的な行動、避難の仕方について考える。 【思考・判断・表現】〈ワークシート〉 ◎過去の災害から「避難しない」「遅れる」ことで被災している実態を説明する。災害時の人間心理(正常性バイアス)を理解させる。 ◎「釜石の奇跡」を例に、自ら率先して避難することが、周囲の避難行動を促すことにつながることを理解させる。
	5 学習のまとめをする。	
14:30	6 心のケアを受ける。	○本時の学習を振り返り、学習内容を深める。 ○生徒の心身の状態に十分配慮する。